

合格体験記 神奈川県・大阪府小学校 HN「けいたん」

序論

私は、平成17年度教員採用試験（平成16年度実施）で、北海道、神奈川県、大阪府と受験しました。そして、神奈川県と大阪府より登録の知らせをいただきました。なお、北海道札幌市は10年連続で登録になりませんでした。もう縁がなかったとあきらめて新天地に骨をうずめようと思っています。（どちらにするかは秘密です。）

なお、書いてある事実、イメージ、言動などはあくまでも私が体験したものが基本ですので、お読みになった感じで違和感があったり、違うイメージを持ったりすることがあるかもしれませんが、私が体験したことがすべてではないと思っていただけたらいいと思います。

また、この合格体験記のコンセプトは「日本国中どこに住んでもそこが都、一切こだわりはないよ。とにかく受かりたいんだ、子どもの前に立ちたいんだ」という人向けの体験記だと思います。

私は大学卒業後、北海道札幌市で7年、北海道 市で1年半臨時採用を行いながら、採用試験を受けてきました。（校種はいずれも小学校）

平成8年度	北海道	登録ならず				
平成9年度	札幌市	登録ならず				
平成10年度	札幌市	登録ならず				
平成11年度	北海道	登録ならず				
平成12年度	札幌市	1次突破	登録ならず	（北海道札幌市が2段階選抜を始めた年です。）		
平成13年度	札幌市	1次突破	登録ならず			
平成14年度	札幌市	1次突破	登録ならず			
平成15年度	札幌市	1次突破	登録ならず	東京都	1次突破	2次辞退
平成16年度	北海道	1次突破	登録ならず	東京都	1次突破	2次辞退
	愛知県	1次突破	登録ならず	宮城県	1次突破	登録ならず
平成17年度	北海道	1次突破	登録ならず	神奈川県	1次突破	2次登録
	大阪府	1次突破	2次登録			

という採用試験経歴を持っています。

思えば、大学生から臨時採用数年間は、北海道札幌市は大量採用だったにもかかわらず落ちていました。それは、自分の勉強不足（特に面接での）また本当に自分自身が本気で教員になろうと思っているのかという自問自答の日々でした。本当はどうでもいいと思っているのではないかと、でも、このままどうするんだろうという悩むことで、自分だけが受からないという被害者妄想に陥ってだめになりかけていたのです。

そして、生まれ故郷北海道札幌市への思い入れも強くて、年齢制限まで受け続けるんだと意地を張っていました。

そういう意味では、北海道以外を受けてみようと思った平成15年度がきっかけだったのかもしれませんが。

自己分析を行いましょ。

平成15年度(16年度試験)私は講師のつながりが切れた事もあって、今年は受けられるところを受けまろうと思いました。そしてその中から「自分の特性に合った試験を行う自治体はどこか」という分析をしました。

そのためには、模試を受けたり、過去問を解いたりしました。そうして、私の自己分析を行いました。

けいたんの自己分析 平成15年4月現在

(S, A, B, C, D, E) Cが平均 Sは、誰にも負けないくらいということ。

一般教養

国語 B 算数 A 理科 A 社会 A 英語 D 音楽 S 図工 B 家庭科 C
体育 A 時事 A

教職教養

教育心理 C 教育史 D 教育原理 B 学習指導要領 B 学習指導 B

論作文 B

個人面接 C 圧迫面接 E おだて面接 D 集団面接 A
集団討論 B 司会 D 模擬授業 A 場面指導 A

音楽実技歌唱 S リコーダー A ピアノ B 水泳クロール A 平泳ぎ B
バスケットボール A マット運動 E 内田クレペリン E

こんな自己分析を行いました。そして、その自分の特性が活かされるような受験地を選んだのです。苦手なもの出来るだけない、得意なものがたくさんある自治体の選択に入りました。

また、少しでも苦手なものの克服と得意なものを伸ばすための努力もしました。

受験地の決定 (平成16年度と17年度に関する記述)

受験地の決定での要素は、さまざまありました。

(1) 日程

いくら受けた自治体がたくさんあっても、日程が重なっていたら受けることが出来ません。1次は重なっていないけど2次は重なるなどのケースもあります。大量採用をしたい、そして第1希望の人に入ってほしいと思っている自治体ほど、試験を何度も行ったり、試験日を後日指定(1次合格の書類に2次の日程が書いてあるなど)にしたりと難しいです。でも、これを検討しなければ、1次は2つ受かったけど2次は重なって片方は辞退したということになります。(私も2度東京都を辞退しています、受けるときは「滑り止め」と思っている、いざ受けられないことがわかると本当に悔しい思いをします。)

平成17年度(16年実施)の日程では・・・・・・。

東京と大阪は 2次が重なる可能性が高いです。

東京と北海道は 校種によっては2次が重なります。(東京で実技がある校種は重なります。)

大阪と横浜は 2次が重なる可能性があります。

京都府と愛知は 2次が重なる可能性があります。

また、大阪や横浜は2次試験でたくさんの自治体と重なる可能性があります。(2次の日程の指定が1次通過時点で行われ、8月下旬から9月下旬 横浜市は10月上旬までいつになるかわからない。)

ですから、大阪などは東北各県とも重なる可能性もあるし、横浜は北海道や青森などとも重なることもあるようです。東京アカデミーや時事通信社のHPに詳しく書いてあります。また、試験要綱が配布される時期になったら、各教育委員会のHPにもアップされるはずですので、参考に見るとよいと思います。

1次のブロック制などについては、ここで話す必要はないでしょう。

(2) 倍率と試験内容

日本国中どこでもいい、住めば都だと思っている私にとって、倍率は非常に大事です。そりゃ、倍率が低いほうがいいにきまっています。しかしながら、私が着目したのは、自分が得意なもので勝負をするということです。

私はペーパーテストが得意です。アカデミーの模試で11000人の中で300番台というときもありました。ペーパーテストでしっかりと絞る、または1次2次両方にペーパーテストがある自治体を選びました。

たとえば、私の地元北海道は、1次ではペーパーテストのみですが、最終合格者の3倍から5倍の間で2次に進むことができます。そして2次では私の割合苦手な面接や集団面接で3分の1に絞られるわけです。私にとって北海道は不利なのです。

今回合格した神奈川県は、1次はペーパーテストだけ、そして1次に合格したら7割程度は2次も合格する。これは私にとっては非常に有利なのです。そして2次の内容も、模擬授業があつたり、今年からマット運動必須ではなくてバスケットボールとの選択になったりと私にとって有利だと判断したのです。

また、大阪府は、1次はペーパーテストと集団面接。1次通過者(最終合格者数予定の1.5倍程度)の中から、さらに東京などへ受験者が流れるので倍率が下がります。しかも、2次にも私の得意な筆記試験があつたり、面接の時間も少なかったり(ぼろが出にくい)と私には有利だと思ったのです。

試験は筆記かマークシートか、適性検査はクレペリンかYGか、ご当地問題は出るのか、面接の形態や時間は、圧迫面接は多いのか、・・・・倍率に加えて試験内容を吟味することで、自分が有利になる自治体を選ぶと情報を集めました。

そのような情報は、時事通信社のHP、東京アカデミーのHP、ここの掲示板やそのほかの掲示板などを隈なくチェックして、判断しました。できるだけ自分に有利な自治体を選びたい、自分の合格確率を高めたいと思って情報収集に努めました。

(3) その自治体がほしい教員像

教員採用試験は競争試験ではなく選考試験ですので、いくらペーパーや実技、面接などの試験ができていても、その自治体がほしい人材でなければ登録になりません。

その自治体は若い人が欲しいのか、30台が欲しいのか、地元出身が欲しいのか、他県からでも受け入れてくれるのか、男性と女性をどのような割合で欲しいのか、そういうことも考慮しなければいけません。

そういう情報は基本的には自治体側からは出てきませんが、掲示板などで受験生の書き込みをたくさん呼んでいるとその自治体の欲しい教員像はおおよそわかるのです。

(4) 提出書類

教員採用試験においては、提出書類を用意しなければいけない場合が多いです。健康診断書、人物に関する調査書、卒業証明書、教員免許状のコピー、これらのものを準備しなければいけないのですが、それぞれの人によって準備しやすさは違います。また、健康診断の病院も田舎のほうではあまりなかったりすることもあります。

自分はここの自治体一本だと思うのであれば、その提出書類は準備しなければいけません、たくさん受験する場合、さまざまな提出書類を準備することが困難になるのです。

私の場合、16年度は講師をしていなかったため、人物に関する調査書などは準備しづらかったですし。17年度は田舎での勤務のため、健康診断を行っている病院が少なく、また健康診断で高いお金が取られていたりしました。

これらのことを考え、平成16年度と17年度は次の自治体を受験しました。

< 16年度 >

北海道・・・講師先&地元 1次は筆記のみなので2次に行くことが出来る公算が大きい、しかしながら、2次に行ってもそこから3倍なので、自分にとっては厳しい自治体試験時の提出書類はない。

東京都・・・地元以外の人を受け入れてくれる。1次は筆記+論文と割合得意なもののみ。

2次に行ったら合格+補欠には3分の2以上は入ることができる。

模擬授業があるのも自分には有利だが、北海道と2次の日程が重なる。

2次に健康診断書が必要。(1次の結果が来てからなので時間が少ない)

愛知県・・・1次にも2次にも筆記がある。しかも難度が割合高い(差がつきやすい)

2次に行ったら6割は合格+補欠に入ることができる。

2次に健康診断書が必要。(1次の結果が来てからなので時間が少ない)また、他県で講師をしている人は校長の原本証明による履歴書がいる。(当時は講師をしていなかったのだから)

採用に関してはいろいろうわさがあるようですが、2次の倍率の低さ+筆記で選択

宮城県・・・東北各県の中で倍率は割合低め。1次の総合問題は過去問題を解いてみると面白かった。

2次に行ったらそこからおよそ2倍、集団討論がないのも自分には有利、

マツ運動があるのは不利、図工実技があるのも不利(実際の試験では無かった)

2次に健康診断書、教員免許のコピーが必要

< 17年度 >

北海道・・・講師先&地元 1次は筆記のみなので2次に行くことが出来る公算が大きい、

しかしながら、2次に行ってもそこから3倍なので、自分にとっては厳しい自治体試験時の提出書類はない

神奈川県・・・今年はず北海道と日程が重ならないところを選んだ。

地元以外を排除するといううわさもない。ペーパーテストのみが1次、適度な難度

2次の体育実技でボール運動が選択可能になった。2次に進んだらそこからおよそ2倍弱。

2次に教員免許のコピーが必要

大阪府・・・地元以外を排除するといううわさがない。30台も不利にならない。

2次に行ったら1.5倍程度。2次にも筆記がある。みんなの体操がよくわからない。

2次の面接時間が少ない。(集団討論20分、集団面接20分、個人面接12分)

東京と2次日程が重なるので毎年欠席者が多く、2次倍率はそれよりも低い。

2次受験で不合格の場合は、翌年は1次免除。

試験時の提出書類はない。

ほかに検討した自治体としては、鳥取県、川崎市、京都府、岐阜県、福岡県、千葉県、埼玉県などがありました。

東京や大阪の願書配布は、4月上旬にもう始まります。ですから、自己分析と受験地の決定は3月末までにおおよその全体像を考えておいたほうがよいでしょう。

東京都、神奈川県、大阪府の試験では、欠席者が非常に多いです。(私も東京2次2回辞退していますが)1次で欠席した人は、多分数箇所に願書を出して倍率を見てから受験地を選んだりしているようですが、願書を書くのも一苦労ですし、目的にあった勉強ができないと思います。また実際の倍率は欠席者の状況を見てみないとわからないこともありますので、本当は受験地をしっかりと決めて、願書を出したほうがよいと思います。

願書を出して受験しなかった人を今後数年間チェックするといううわさのある自治体もあるようです。

願書を出しましょう。

受験予定が立ったら、願書を書きます。願書の取り寄せ方は、それぞれの教育委員会のHPに出ますので、その時期になったらチェックをしてみてください。(今年の大阪府はネット出願をしました。)

さて、その願書を出すときから採用試験が始まっていると思って欲しいと思います。私の友人などにも多いですが、願書提出期限ぎりぎりになってあわてて書いているのはもう他の人よりも一歩遅れていると思います。

事務的な内容(経歴、免許、名前、住所・・・)などは丁寧に書けば良いと思いますが、一番しっかりと書かなければいけないのは、自己アピールや自己推薦書、面接カードなどの、自分の特性に関する書類です。願書を出すときに一緒に提出する自治体(北海道札幌市、宮城県、愛知県「自己アピール文」)と、2次試験のときに提出する自治体(大阪府、神奈川県、東京都、愛知県)がありますが、ほとんどが、面接時の資料となることが多いようです。(愛知の自己アピールは1次試験の合否に影響するようです)

(1)字を大きめに、字数は少なく簡潔に書きましょう。

面接官は1日に何人も面接をします。ずっと座りっぱなしでたくさんの人の文章を読み、面接をします。そんな中で、細かい字でびっしりと書いてある面接カードを見ても読みきることができないと思います。また、俳句や短歌を作るように字数を抑えるように吟味しましょう。同じことを伝えるのだったら字数が少ないほうが絶対に読みやすいですから。

神奈川県2次で出した面接カードの自己アピール書、23行横書きがあるのですが、私は6個の項目に分け、大きい字で書きました。そして・・・7行余しました。

神奈川県受験者で仲良くなった人とお互いの面接カードを読み比べましたが、ほとんどの人は細かい字でびっしりと書いてありました。私はそれを見て「読む気がしない・・・」と感じてしまいました。面接官はそれを何枚も何枚も神経をすり減らしながら読むのです。せっかく読んで欲しいこと、聞いて欲しいことがあっても、読んでもらえなければ意味がありません。まずは、読みやすさ重視で行きましょう。(この体験記も読みづらいと思いますが)

同じように、大阪府でも、かなり大きな字で、見やすさ重視でエントリーシートや面接個票を書きました。

(2) アピールすることは、多方面にわたったほうがいいと思います。

得意なことは1つだけですか? 神奈川県受験者で仲良くなった人の面接カードを読ませてもらいましたが、その人は23行、部活から学んだことばかりでした。本当に部活しか能がない人なのでしょうか? 違うと思うんです。でも部活の経歴をアピールしたいという意欲が強すぎて、「あなたは部活以外には何も無いのですか?」という疑問を感じました。

ちなみに私がアピール文に書いた項目は次の通りです。

- ・ 臨時的任用教員としての経験
- ・ 地域を知る、溶け込むために努力していること
- ・ 吹奏楽の活動
- ・ 登山
- ・ コンピューター操作能力
- ・ 情報の活用

皆たくさんアピールできる項目があるのだと思います。たくさんを少しずつ盛り込んだら、魅力的な自己アピールができると思います。

(3) 写真って意外に大事です

願書や受験票に貼る写真は結構大事だと思います。面接のときに入ってくる前に面接カードなどを読み、そこに張ってある写真でその人をある程度理解しようとしています。

3分間写真などでも撮ることができますが、やっぱりプロにとってもらったほうが写りはいいです、そして、数県掛け持ちするなら、焼き増しをお願いすればよいので結果的には安く済みます。もちろん、基本的にはスーツ姿で撮ったほうがよいでしょう。(結構普段着の写真の人がいました)

北海道札幌市・・・3枚必要 願書 1次受験票 2次受験票

神奈川県・・・5枚必要 願書 1次受験票 2次受験票 面接カード(2枚)

大阪府・・・5枚必要 1次受験票(2枚) 2次受験票 面接カード(2枚)

筆記試験に向けての勉強

基本的には、教員採用セミナーの後ろについている問題集を使いました。それを解きながら、確認をしていきました。16年度は4月から講師が無かったのでみっちりとすることができました、しかし、17年度は講師がありほとんど勉強する時間はありませんでした。過去の遺産のみの勝負でありました。

(1) 教職教養

教職教養は、このページにまとまっている表をダウンロードして使いました。さまざまな問題を解いたりするたびにその表を見直し、その項目が無ければ付け足しながら自分なりの表を作っていました。(このペー

ジに載っている表は、必要最低限のもので、採用試験が多様化されていてさまざまところから問題が出るようになってきていると思います。)とにかく知識を増やすこと、専門用語や人名を覚えてつなげることに集中しました。

また、学習指導要領は文部省のHPからダウンロードしました。そして、大事なところにパソコンで色をつけ見直しました。新聞には毎日目を通し、特に教育関係の話題は見逃さないようにしていました。(一般教養時事問題の勉強もかねて新聞や新聞社のHPは結構チェックしていました。)あと、受験先の地元紙のHPは結構面白く、チェックをしていました。(中日新聞、河北新報、東京新聞、北海道新聞、経済の伝書鳩・・・など)

教職教養で作った表は、プリントアウトして試験前に復習するための教材にしました。

(2) 一般教養

一般教養は、基本的に教員採用セミナーの後ろについている問題を行ったあと。苦手になっている科目の中で何とか頑張れそうだというものについては、パソコンで資料を作りました。国語の慣用句、文学史、故事成語、家庭科の栄養関係、図工のデザインパターンなどは勉強をしましたが、英語などはもう勉強はしませんでした。(英語を勉強するよりもそれ以外のものを勉強したほうが効率がよいと判断しました。)

(3) 小学校全科

基本的な内容は一般教養と重なるために、勉強は指導法と指導要領に特化させました。過去問題をいろいろなところを解くことくらいしか対策はしなかったです。

論文試験に向けての勉強

教育論文は、書き方があるそうです。さまざまな講座や本、また指導してくれる管理職の先生などによって書き方などは違うと思います。ここでは私の書き方を披露したいと思います。

(1) 題意を読み取り、構成を考える

まずは、何度か題を読んで、題意を読み取ることです。教師として論文を描くわけですから、基本的には実践的な内容を存分に盛り込まなければいけません。何を求めた論文なのか、しっかり読み取ることが大事です。

その後は、問題用紙の裏などを使って構成を考えます。私は序論、中論2つ、結論の4段編成を基本として考えるやり方で慣れました。(これは4段がいいのか5段がいいのかは見る先生によって違います。)

そして、自分の体験なども取り入れながら約5分で構想を練ります。抽象題や、グラフでの出題の場合ここで失敗してしまって、わけがわからない論文になりやすいです。(私が受けた中では、宮城県、愛知県など)

<序論>

題意を受けて、社会ではどのような認識になっているか、そして自分はどう考えるのかを書く。最後は「～を～するために私は次のことに取り組む。」と締める。

<本論>

自分の体験をしっかりと挿入して書く。「～したい、～する」だけでは説得力は無い。「以前～をしたら～のような効果があった、このように私は～に取り組みたい」という形を基本にする。

2本書くので、片方は学習指導、もう一方は生活指導などと観点を変える。

考えられる観点としては、学習指導、生活指導、研修、学級作り、行事、地域、などですぐに使えるネタを多数用意しておく、すんなり書きやすい。

< 結論 >

まず、本論を受けて自分が考えるところの結論を書く。そして締め言葉を書く。「～に取り組む決意である。」などという締めの言葉パターンをいくつか部品として持っておくとよい。

(2) 書く

構成が終わったらいよいよ原稿用紙に向かい、書く。誤字脱字に注意しながら書く。誤字ならまだ直せるが、脱字はあとで直そうと思ってもなかなか難しい。(一気に消しゴムで消しても後が残ったりするし、時間を非常にロスする。)

(3) 読み直す。

最後にもう一度読み直す。残り5分ぐらいなのでここから一気に変えることはできない。誤字のチェックぐらいである。

私の論文練習方法は、まず読むことです。教員養成セミナーや教職課程の論文をとにかくたくさん読みました。そして、それをパソコンに打ち込みました。自分が模擬試験などで書いた論文もパソコンに打ち込みました。付けられたチェックや評価も打ち込みました。

たくさん読んでいくうちに、よい構成や表現がわかるようになってきます。

そうしたら、今度はいろいろ書いていきます。書いては読み直し、パソコンに打ち込みを繰り返しました。そうして、自分なりの文章、書くネタ、そういうものを増やしていくことができます。また、構成のパターンにどんな題でも当てはめることができるようになったり、書くスピードがついたりします。

大阪府では、論文試験はなくなりました。理由は「各予備校や大学などで皆さん練習をしてきて、論文では差がつかなくなった。みんないい論文を書きますから。」ということですが。未だに大多数の自治体では人物試験の一環として論文試験が行われます。

その理由は、その人物が書く文を読めば、その人となりがわかるからだと思います。このHPの掲示板などでもさまざまな意見が出てきますが、このような意見を持ち、書き方をする人はどんな人なのだろうか、どのような姿で教壇に立っているのだろうかというのはある程度想像できます。

ですから、人物を磨く一環としての文章修行なのだなと考えています。講師などで現場に出ていると、学級通信を始めさまざまところで文章を書くことは日常茶飯事です。そんな一つ一つの文章をしっかりと仕上げるように気をつけていくことも、論文の勉強になります。

面接試験アラカルト

すべての自治体の採用試験で、人物検査として面接が行われています。私は面接は苦手ですが、そんななかでも10年間ためてきたものがありますので少しばかり載せたいと思います。

面接で一番見られているのは、やっぱり一番は態度や雰囲気なのではないかと思います。面接官の質問に対してどんなに完璧に答えても、暗かったり背筋が曲がっていたりして、「ああ、この人を子どもの前に立たせたくないな」と面接官が思ったらもうお終いです。逆に、面接官の質問にすべては答えられなくて、「わかり

ません、調べておきます」ということがあっても、全体的な雰囲気良かったりしたら、面接の評価はよい点が付くことも多いそうです。

面接での失敗は採用試験全体に響くと言っても過言ではありません。逆に面接で好印象を与えられる人は、採用試験によく影響し、子どもの前に立ってもいい雰囲気のまま教師になれることが多いそうです。

なお、面接官にPTAや、民間人を採用する自治体が増加しています。話を聞きますと、民間人の面接官は、それまでの管理職や教育委員会の面接官とは見る観点が違うそうです。まずは、マナー、しぐさ、服装などから社会人として適切かどうかを見る、社会人としての常識のない人は採用しないという観点から民間にも面接官をお願いしているそうです。

<面接マナーの基本>

今回、某採用試験予備校の面接練習に参加したところ、私はまずノックと歩き方のみで20分ほどのやり直しをさせられました。わかる面接官はノックを聞いただけでわかるのだそうです。

簡単なマナーを通して見ていきましょう。

(1) ノック

ノックは、「入っていいですか?」という気持ちを込めたノックをしましょう。トイレに入っている人に向かって「入ってますか?」というノックになっていませんか?

「コンコン!」というノックになっていませんか?それはトイレノックです。

「コン、コン」というやさしいノックが「入ってよろしいですか?」ノックです。

(2) ドアの開け方、閉め方

ドアは、いきなり開けられると誰でもいやな気分になるそうです。学校でも、昔から扉をいきなり「ガラッ」と開けてくるのは恐い先生と相場が決まっております。ですから、扉は、最初少し開けてからさっと全部あけるやりかた、閉めるときも全部いきなり閉めないで、一気にぎりぎりまで閉めてから確認のために最後に音を出さないようにして閉めるのがよいそうです。

ガチャ スー と開けて スー 静かにガチャ と閉める

バシッとか言う音を出さないように注意しましょう。

練習をしてみたら良くわかると思います。

(3) 礼

ドアの前(横)でする礼と、椅子の横でする礼は意味が違うのだそうです。ドアの前(横)でする礼はその場に対して行う礼で、椅子の横でする礼は面接官に向かってする礼なのだそうです。

高校野球の選手などは、グラウンドに入るとき、誰もいなくてもその場に対して挨拶をします。それと同じ感じですが、ドアの前(横)の礼は15度から25度ぐらいの礼を行い「失礼します。」「失礼しました。」と大きく言いましょ。

椅子の横の礼は45度の最敬礼をしましょう。この角度がポイントで自分では深く曲げているつもりでも、なかなか曲がってはいません。友人と一緒に見ながら練習したらよいかもかもしれません。

(4) 歩き方

まっすぐ歩いていますか。手は適度に振っていますか。手と足は交互になっていますか。顔は前を向いてい

ますか。顔はにこやかですか。歩幅は適当ですか。

(5) 座り方

かっこよく座りましょう。椅子の横にるので、椅子とは反対側の足を一步前に出し、椅子側の足を椅子の前に出し、座るといふ3つの動作を流れるようにやってみましょう。

また、立ち上がるときはその反対です。流れるように椅子の横に来ることができたら丸です。

ここまでの動作、スムーズに、スマートに、自然にできますか？ 面接を受けるときのマナーの基本だそうです。

<面接の中身に対しては>

私が長年落ち続けていた、そして面接が苦手だったわけは、面接官を非常に恐がり、素直に自分をさらけ出すことができなかつたからだと思います。突っ込まれるのが恐くて理論武装をしていき、どんな質問が来ても答えられるように必死に勉強をしていきました。

でも、そういう受験生に対して、面接官は何とかして化けの皮をはいでやろうと、圧迫をします。そうしてぼろが出ていくのです。

面接には、だめな答えはあります。でも、100点という答えはありません。ある程度「だめな答え」を出さないような練習をした後は、自分をまな板の上に上げてみてもらおうという素直な態度で臨んだらよいと思っています。

(1) 明らかにだめな答え (けいたんの過去の回答より)

Q あなたは札幌に住んでいるのになぜ北海道を希望したのですか。

A 私は一人暮らしがしたいので、教員住宅がある北海道を希望しました。

Q あなたは中学の免許もあるみたいだけど、中学はだめなのかい？

A 私の持っている免許は中学2種です、できれば1種を持っている小学校を希望します。

Q 生徒指導に関してあなたが考えることを言ってください。

A 自分が将来何になりたいのかということから、自分の生活や進路を考えさせたいです。

Q あなたはなぜ休み時間も教室にいるのですか？

A ちょうど大阪の事件もありました、子供たちが怪我をしないように、監視しているのです。

Q 他の先生は、休み時間教室にはいないの？

A はい、いません。職員室でコーヒーをのんでいますので、「なんだかなあ」と思っています。

(2) 面接10の法則

- ・はきはきと、にこやかに
- ・手短かに、回答は45秒以内で
- ・1人称は「私」が正解
- ・自分がしゃべるのではなくて、面接官にしゃべらせる
- ・面接官が笑ったら、印象アップ

- ・わからないことは素直にわかりません、調べておきますと言いましょ。
- ・聞き取れなかったことは、素直に「もう一度お願いします」と言いましょ。
- ・嘘は必ずばれる、でもついてもよい嘘もある、つかなきゃならぬ嘘もある。
- ・郷土の事は調べておこ。 (特に他県受験の場合は)
- ・困ったときはまず一呼吸。

(3) 圧迫面接とおだて面接に引っかかるべからず

圧迫面接という言葉を知っていますか？受験者を圧迫させるような言葉をかけて萎縮させ、ぼろを出させようとする面接官の発問です。また、おだて面接を知っていますか？受験者の経歴や発言を褒めちぎり、いい気になった受験者が自分からぼろを出していくのを見ようとする面接官の発問です。

面接官は受験者の素の状態を見たいと思いますから、時には圧迫をしたり、おだてたりしながらいかに受験者の本当の姿を引き出そうか試しています。

もし、面接官が受験者をばかにするような発言、受験者を否定するような発言があつて、自分が動揺しそうになったら・・・まずは一呼吸おきましょ、ここで何を言ったらいいか考えるわけです。それでも思いつかない場合は、謝っちゃいましょ。「申し訳ありません、そのことについてはさらに調べておきます。」「申し訳ありません、自分の勉強不足です。」

適切な答えが見つかるのならいいのですが、そうでなければ、面接官はさらに厳しく突っ込んできます。傷口が浅いうちに切り抜けましょ。

最近、おだて面接も多くなっています。これについては、おだてられた受験者が気分良くなった態度を見せてしまつたり、言つてはいけないことを言つてしまつたりします。それで、面接官はその受験生に対する評価を落とすわけです。しかし、面接が終わつたあとは気分がいいですので、どこで自分が失点しているかわからなくなっていることがよくあります。採用試験の結果が届いて慌てふためくわけです。

面接官に誉められたとき、もう試験に受かつたと思つて態度が変わります。でも、それは罨だと思つて、態度を変えないで誠実に頑張りましょ。

また、面接官が書く評価をわざと受験生に見せながら書く面接官もいます。受験生に対する配慮ができていないのか、それとも、評価を見せることで受験生の動揺等を誘うのか・・・。とにかく、誠実に誠実にがんばつていましょ。

集団討論は楽し

現在、ほとんどの自治体では集団討論が行われています。集団面接については、普通の面接の項を見ていただけたらいいと思いますが、集団討論では、討論の基礎を知っておかなければいけません。

集団討論で見たい資質は、協調性や議論をリードする力、まとめる力、議論のマナー、聞く態度などであろうと想像できます。さまざまな場合においての集団討論について、自分が感じているところを述べたいと思います。

私は、集団討論は基本的に楽しいです。理由は2つあります。

- ・さまざまな意見を聞くことができ、自分も勉強になる。
- ・人間観察の場になる。

でも、苦手な人にとっては、集団討論は苦痛以外の何者でもないようです。私も昔は苦手でした。さまざまな採用試験を受験したり、模擬討論を繰り返しながら楽しいと思うようになりました。

(1) 司会は、よほど自信がある場合以外は引き受けない。

私、司会は自信がありません。他の人がたくさんの意見を言うのをまとめきれず、おろおろしてしまうからです。札幌市の試験で1度司会をしたことがありましたが、意見をもてあまし、時間を余し、おろおろしてしまったり、いやな姿を見せてしまいました。(当然不合格)

それ以来、司会は引き受けないことにしています。

実際、司会をしたから合格するというわけではなく、司会をして非常に上手に討論をまとめることができれば、集団討論の得点が高くなるということであって、司会をしなくても合格している人はたくさんいます。また、司会を立ててはいけないという指示がある自治体もかなりあるようです。(神奈川県、大阪府はそうでした。)

もし、司会をするならば・・・。

- ・ 出た意見は大事にする。出た意見を大事にしてまとめる。
 - ・ 外れた意見は外れていると言う勇気がいる。
 - ・ 自分の意見もしっかり言う。
- を、念頭において欲しいと思います。

(2) たくさんの観点を持とう。

課題が与えられたら、まずは、その課題についてたくさんの観点から自分の意見を持ちましょう。(紙に書くことができたらなおよいです。)

もし、課題が学級崩壊であるならば

- ・ 学級崩壊が言われるようになったのはいつごろか(昔からあったのかなかったのか、文部省のアンケート)
- ・ 構成する子どもの質は変わったのか(少子化、核家族化、飽食の時代、・・・)
- ・ 学級崩壊になったらどうするのか。(TT、連携、・・・)
- ・ 学級崩壊の要因(ルールが守られない、心の交流ができない、・・・)
- ・ 学級崩壊にならないためにどうするのか。(魅力ある授業、児童理解、学級経営、・・・)
- ・ 学級崩壊になっていく過程。(さまざまなプロセス)
- ・ 学級崩壊を経験した子どもの影響。(子どもは学校不審にならないか、

まだまだたくさんあると思いますが、思い出せるだけ思い出すのです、書けるだけ書くのです、これが自分の武器になります。

(3) 決め台詞を持とう

同じことを話していても、短い魂のこもった言葉、重い言葉で話す人と、軽薄に話す人では、周りに対する影響も違ったり、面接官が持つイメージも違います。

そこで、さまざまな観点に関して、短い決め台詞をたくさん用意しておきましょう。これは、討論に向けて急に用意できるものではありません、論文の練習、日常の教育活動(講師先、大学で)、新聞やニュースなどを通して、自分の言葉が増えていくものと感じます。

教育的な用語が、自分の言葉として出てくるようになってきたらいいのではないかと思います。

私的には、このページのチャットで大分鍛えられた感じもしています。

(4) 討論のマナー

みんなが気持ちよく討論するためにはマナーが大事です。マナーが非常によくていい討論ができた後は、それぞれの名前や電話番号交換をしたり、帰りに一緒になって話しながら帰ったりと雰囲気がよくなります。マナーが悪くてよい討論にならなかった場合は・・・想像にお任せします。

こんなことを中心にマナーを考えてくれたらいいと思います。

<自分の時間を計算しよう。>

討論の時間が30分で6人であれば、1人分の持ち時間は約5分です。となると4分から6分ぐらいに自分の言いたいことはまとめなければいけません。1回1分ぐらい発言するとして、4回から6回という計算になります。

結構このことに気を使わず、一人で何回も何回も話している人もいます。そして、周りからは響きを買っているはずで

<司会を盛り立てよう>

司会を決めた討論であるならば、とにかく司会を盛り立てて議論を進めていかなければいけません。司会を無視して、勝手に発言したり、他の人を当てたり、そういうことは、間違えなく大幅減点になります。

<発言を引用しよう>

他の人の発言で見るところがあった場合は、発言を引用しちゃいましょう。「Aさんの言ったこういうことについて同感に思います、それに加えて・・・」

ただ引用するだけでは付和雷同的な人だと思われるので、付け足しや、新しい観点を出すなど、議論を発展させましょう。ただただ、自分の意見を述べる場ではないのです。

<まとめを取れ>

数限りある発言回数です。どうせならば、議論に貢献した発言をしたいところです。司会以外ではなんといっても「まとめの意見」が大事です。数人似たような意見を言ったあとで、その部分をまとめるような意見を言うと、俄然存在感が増します。

<聞く態度を大事にしよう>

ちゃんと聞いていますか？話している人のほうに顔や目を向けて聞いていますか？そして、うんうんとうなずきながら笑顔で聞いていたらいいでしょう。協調性がある人、聞き上手な人ということで面接官の印象もあがります。もちろん、メモを取りながらということもあるでしょうが、メモに目をやり、話している人を見る繰り返しをしていたら、十分と思います。

<こういう人は落ちます>

- ・話の流れから外れた話をする。(質問の意図や討論の流れを適切に把握できない)
- ・他の人をあからさまに批判する。 ・現場批判をする。
- ・講師経験などを話し、威張ろうとする。(以外に現役の人は縮こまるものです)経験を話すのはよいですが、いかにも俺は経験しているのだという態度がだめなのです。
- ・自分の意見に固執する。 ・司会をないがしろにする。 ・話を聞けない。

集団討論は、一つの討論ゲームだと思っています。一般的なやり方を身に付けたら、後はどんな課題が出て
も応用していけるはずで

いい討論の場合、そのグループのみんながいい点がついて、みんなそろって採用になる場合もあるそうです。

悪い討論は、ほとんどの場合は1人もしくは2人のメンバーによって作られます。マナー違反のメンバ
ーがいたら他の人はどうすることもできません。そして、全体の点数が下がります。

悪い討論を作るメンバーにならないよう、友人たちと、講座で、チャットで、討論の練習を是非してほしい
と思います。

神奈川県採用試験

< 1次試験 >

神奈川県の採用試験は、今年は7月の第2週に行われます。1次試験は教養試験と専門試験のみです。問題
は神奈川県、川崎市、横浜市と共同で行われ、いずれもマークシート形式になっています。

問題は素直なものが多く、ひねった問題や組み合わせで答えるようなものは少ないほうです。ただし、60
分で50問(教養試験)ですのでスピードはある程度必要になります。自分の近くの人たちは「時間が足りな
かった」と話している声が多かったです。平成17年度は1600人程度受験して1000人1次突破しまし
た。半分以上の人が通る試験です。教員としての最低限の学力と、教員になりたいという意欲を維持して勉強
をしていたら受かって欲しい試験だと思います。

過去問などを解き、6割から7割コンスタントにとることができるぐらいの実力をまずは目指して欲しいと
思います。

< 2次試験 >

7月の下旬に合格発表があって、8月の中旬には神奈川県の2次試験が始まります。10日はありませんの
で、1次試験で7割以上は固いと思った人は早めに宿や交通機関の手配を済ませておいたほうがよいでしょう。
特に飛行機は10日前からは非常に高くなります。また、8月中に3回試験があります、それが地方から受験
する人には結構負担になります。私はその3回が1週間おきぐらいになってしまったので、北海道と神奈川を
3往復しました。地方から受けに来る人は、かなりの出費は覚悟をしておいたほうがよいと思います。

(1) 模擬授業

神奈川の模擬授業は、指導案提出、教材持ち込み可、冒頭の10分を行う、児童役に当ててもよい。という
特徴があります。教師の一人芝居ではありません。当日もさまざまな教材を持ち込んでいる人が多く、教材を
うまく使った授業が多かったです。

指導案は内容をこと細かく書くよりも、とにかく見やすく丁寧に仕上げました。面接官もたくさんの指導案
を読むわけですから、まずは読んでもらわなければ話になりません。パソコン製作、ワードアートなどで矢印
や図形を上手に使う、イメージ重視です。

指導案や教材は、自分で作らずに他の人から借りることもできるわけです。ですから指導案を上手に作っ
てあっても、教材がすごいものであっても、模擬授業の評価は高くないと思います。その指導案をきちんと自分
のものにしているか、教材を上手に使いこなしているか、子どもへの接し方は適切かということを見ている
のだと思います。

私は、1年生音楽の授業で勝負しました。題材は「うみ」、1年生の音楽ですから(しかも1学期予定)楽

しさを重視で、音楽体操、リズム遊びの導入を実際の授業では行いました。そして、黒板に教材名を書いたところで10分でした。作っていった教材はありません。黒板を使っただけでした。(自分のグループで教材を作っていかなかったのは私だけでした、そういう意味では異端でした)

自分の模擬授業や他の人の模擬授業で気になったことを下に書いておきたいと思います。(私のグループで感じたことのみです)

(A)挨拶をしっかりとしよう。

授業の冒頭ということは授業の始めの挨拶があります。ほとんどの人は教師が「始めます」とぺこりと頭を下げて言って始めていました。私は「今日の日直は・・・Aさんですね。挨拶をお願いします」と振りました。(事前に講師経験があるという話をしていたので)授業に入る心の準備という意味でも、挨拶は重要と思います。教育実習などでは、授業を始める挨拶はどのようにやっていたか?普通は児童が挨拶をするはずですが、それと同じように、挨拶を児童役にさせてしまうのも手だと思いました。

(B)学年に応じた話し方で。

総じて、しゃべる速さが速い。と感じました。小学生に話すスピードは、抑揚は・・・。そういうところを一番見られている気がしました。模擬授業は即戦力を採用するための試験だと思っています、講師経験があったり、教育実習でしっかり子供たちから学んでいたりしたら、話し方やしぐさなどが身につけているのではないかと思います。

また、児童役の実験者から思うような反応が無かったりしたら、あせってしまう人が結構いました。そういうときにはあせった顔を見せずに、まず一息つきましょ。そしてゆったりと問題を解決ましょ。場面指導の要素も含んでいるのだなと感じました。

(C)黒板の字は見られています。

黒板を使う場合、適切な大きさの字や丁寧に書いているかといったところは見られていると思います。黒板に書くというのは指導技術の一つだと思います。また、子供たちのほうを向きながら黒板に書くなどの指導技術なども身に付けておくといいと思います。

(2)個人面接1

模擬授業の後、その模擬授業についての個人面接が行われます。指導案を自分のものにしてあるかということを中心に質問がありました。1年生の授業を行った理由、1年生を担当したことがあるか、今は何年生を担当しているのか、高学年でも模擬授業のときのような雰囲気を出しているのか、という質問がありました。また、神奈川県を希望する理由についても聞かれました。

(3)実技 音楽

実技は弾き語りとリコーダーです、弾き語りは事前に曲が発表されるので練習していきましょう。リコーダーは初見ですのでその曲は練習することはできませんが、「ドレミファソラシド、サミング、ファ# シ ド#」などを練習しておけばいいと思います。(ソプラノ)

リコーダーは練習時間が30秒ほど与えられますので、2回ぐらい練習することができます。

(4)実技 体育

体育実技は水泳とバスケットボールでした。水泳はスピード重視ではなくて泳法重視、子供に見本を見せるということを想定した型ができているかということが重視です。

同じことがバスケットボールでも言えます。リバウンド、ピボット、チェストパス、ドリブル、ドリブルシュートなどの技術を流れるようにつなげていけるかということが評価されていると思います。これは練習あるのみです。(個人的にはマットよりも練習がやさしいと思います)

(5) 論文検査

題は忘れました。時間が無くて何とか埋めた記憶があります。でも、破綻することなく時間内に何とか終わりました。

(6) 集団討論

神奈川の集団討論は、10人、60分、司会なし、冒頭に課題を与えられてそれぞれがまず話す。という特徴があります。神奈川の集団討論は私的にはうまくいったと思います。全体の流れもよかったし、みんながみんなで討論を盛り上げようという雰囲気があったのでよかったと思いました。

テーマ 地域と連携し、地域に根ざした学校教育を行うためにどんなことが考えられますか。

討論の大きな柱は次の点でした。

- (A) 保護者の信頼を得るための活動
- (B) PTA 行事としての活動
- (C) 教師が地域の情報などを得るためにどうするか
- (D) 授業という時間を生かして。

A けいたん

- まとめの意見を言うことが多い、 さんの話を聞くと……。など、他の人の話を基にしてまとめていた。
- ・PTA から地域に発する通信の方法で仲違いがあったときに、「たくさんのやり方を知っていて、時に応じたやり方をすればよいと感じる。」
- ・地域を生かすということは、クラブなどで新聞に載ったりすることも、学校が地域の誇りになるのではないか。
- ・やはり、授業やカリキュラムにこだわりたい。
- ・その土地で学んだことが財産となり、異動したあとで、さらに財産が増える。

<それ以外にはこんな人がいました。>

- ・2度しか発言しなかった。しかも、話の腰を折ることが多かった。
- ・1度しか発言しなかった。話の内容についていけない様子だった。
- ・話は非常に理論的で、自分の経験もしっかり言っている。また、周りの話もしっかりと合わせることができる。
- ・ぜひ、話を聞いて勉強したいという態度が最後まで崩れなかったが、関西弁は丸出しであった。
- ・自分の勤務する学校のことばかり話し、それ以外の意見を受け入れない。一度しゃべると長いし、何度も手を挙げて発言する。
- ・自分ののところで経験していることを、神奈川県にも持ち込みたいという。

- ・関西弁は丸出し、ふんぞり返って話す。足も組んでいた。周りの人の事を考えていない。
- ・2度しかしゃべっていない。話についていけない。
- ・数度しゃべったが、語尾の伸ばしが非常に気になる。また、下を向いて話す事が多く。雰囲気は良くなかった。
- ・聞く態度が非常によかったし、自分の言葉で語りかけていた。しっかりと論点をまとめて話す姿が非常によかったと思った。
- ・常ににこやかで好感が持てる。また笑顔が良く似合う人だった。
- ・自分の意見を手短かに話す事が出来、他の人の意見を引用して話す事が出来ていた。
- ・実践に裏打ちされたものはあるが、現場を知りすぎているのか知っていることを強みにしているのか。言うべきではない事まで言っていたように感じる。
- ・教師は日常の準備で余裕がない、もっとゆとりを持って取り組めるようにならなければいけない。
- ・地域を調べる時間だって、ゆとりがないと持つことが出来ない。ゆとりは大事である。
- ・自分の学校の実践について細かく話していた。

(7) 個人面接

Aから順番に行います。 25分 面接官が4人(集団と同じ面接官)
A~Jは遠隔地から神奈川県 of 順番で、遠隔地の人ほど早く試験が終わる。

入室 受験番号、名前を言って着席

- ・緊張していませんか？
- ・面接シートから 登山を始めたきっかけ。
- ・本州の山にも登ったことがあるのか。
- ・今勤務している学校と担当学年を教えてください。
- ・どんな特徴を持った学校ですか。
- ・集団討論であった内容ですが、あなたは地域と関わる中でどんな努力をしていますか。
- ・地域の特色を生かした授業はどんなものを行いましたか。
- ・金管バンドなどはどのような活動をしていましたか。
- ・あなたが教員を目指そうとしたきっかけは。
- ・あなたが出会った教師の中で尊敬できる教師を教えてください。
- ・あなたが、子供と心がつながったと感じたことはどんなことがありましたか。
- ・正直指導が難しいと感じたことはありませんか。
- ・ある子のペンケースがなくなりました、どのように対処しますか。
- ・どのように指導したかについては保護者に話しますか。
- ・学級の中でいじめを見つけたことはありますか。
- ・その時にあなたはどんな対処をしましたか。
- ・いじめを未然に発見するためにあなたが気をつけていることは何ですか。
- ・神奈川県はどんな県ですか。

- ・神奈川にある市を3つ言ってください。
- ・神奈川の観光などで気に入ったところがあったら教えてください。
- ・盲学校、聾学校、養護学校での勤務を希望しますか。（ここからは採用には影響しませんがということをお互いに言われ）
- ・特殊学級などでの勤務を希望しますか。
- ・具体的に採用されたい地域はありますか。
- ・北海道と神奈川県、両方受かったらどちらに来ますか。

圧迫という感じも無く、なかなかいい感じで面接を終えることが出来たと思います。常にこやかさを前面に出すことができました。

大阪府採用試験

< 1次試験 >

大阪府の1次試験は、例年7月の第4土日に行われていました。昨年からは1次試験に集団面接が取り入れられ、2週にわたって試験を行うようになりました。

昨年度の試験では、3週目に筆記試験、4週目に面接試験を行ったのですが、3週目の自己採点が悪かった受験生が面接試験を辞退するケースが多かったため、今年は面接試験が3週目で筆記試験が4週目になりました。

何かと話題の多い大阪府です、現職教員の枠を作ったり、各地で説明会を行ったりしています。それもこれからの府の教員が大量採用になるために質のよい受験生をたくさん集めたいがためであり、そういう意味では大阪は本気であると感じています。

また、本気で大阪の教育に飛び込んで欲しいという人を募集しているという気がしています。

大阪府は、1次の対策はきちりとしなければいけません。なぜならば、1次に通過してしまったらそこから倍率は低いからです。今年も1460人1次通過して、1100人2次でも登録になりました。2次試験筆記のときに、私の教室は4人欠席でした、8人欠席の教室もあったようです。これを考えると、2次を受験した人は多く見積もっても1300人、その中から1100人に入れればいいのです。そのステージに上がるためには、1次の対策をしっかりして、1次を通過しなければいけません。

(1) 面接試験 集団面接

大阪の面接では、控え室では一切私語禁止という物々しい中で行われます。時間的にはたいしたことは無いです。（このためだけに北海道から1往復です）

6人で行われるはずが、1人欠席なので、5人で行われました。

- ・学年を指定して、1分間の自己紹介
- ・ロールプレー1題（私には「先生の勉強、わからんわー」に対して一言）
- ・なぜ大阪なのか。
- ・自分はこのんびりか、せっかちか。理由つきで。
- ・最後に自己アピール。

私以外にはこんな人がいました。

- ・自分の講師先の学校や校長の名前を挙げて、私は研究校で講師をしていますと自慢した人（1次不合格）
- ・とにかく一言なのに、延々と喋り捲った人。（2次登録）（この人に2次の集団討論は振り回されるのです）
- ・元自衛官、ロールプレー「掃除をサボっている子どもに一言」で「馬鹿者！！しっかり掃除をきなさい！！」と怒鳴った。また、1分間の自己紹介で自分の名前（漢字）を説明するのに軍隊用語だらけだった。（1次不合格）

（2）筆記試験

大阪府の1次の筆記試験は難しい部類に入ります。割合オーソドックスなタイプの試験の中ではかなり難しい部類に入るでしょう。しかし、時間が2時間あるので時間的には余裕を持って解くことができます。大阪府は途中退席ができるのですが、私は1時間ほどで途中退席をして、駅に向かいました。

あとで、不適切な出題などいろいろあったのですが、一応自己採点では40問中37問取っていました。

大阪府では、筆記が多少だめでも、面接で挽回できると公表しています。インターネットなどを見ていると、結構高得点の受験者が不合格だったり、半分ぐらいの得点の受験者が2次に進んでいたりしています。

でも、両方できるに越したことはありません。しっかりとした1次対策を行いたいところです。

< 2次試験 >

（1）筆記試験

大阪府の2次は筆記試験で口火を切ります。2次では小学校全科の試験が行われます。今年は例年と多少傾向が変わり、指導法を問う問題が減って、指導要領の穴埋め問題などが多くなっていました。

来年以降も指導要領についてはしっかり勉強しておかなければならないと感じました。

1次と同じように途中退席が認められるのですが、今回は早く終わっていたけど最後まで待ちました、周りで試験問題を解いている人の姿を眺めていたのです。気分的なものです。8割は切っていない気がしています。

（2）水泳実技

水泳実技では、泳法に別れて試験を受けます。私はクロールで受けましたので、クロールのことしかわかりませんが、とにかく、子どもに見せる手本になるような泳ぎを見せてくださいということでした。しかしながら、タイムなども審査対象になるのだそうです。

（3）みんなの体操

昨年度から鳴り物入りで入った、大阪府大阪市の目玉です。NHK朝の体操「みんなの体操」の音楽に合わせて創作体操を行います。今までは、小学校の実技試験は、最低限できるかできないか、得意か不得意かということをチェックすることでしたが、この実技試験は、実技といいながら指導力を見る試験です。それを踏まえて準備をして欲しいと思います。

（A）体操を作りましょう

まずは、「みんなの体操」の音楽に合わせて自分の体操を作ります。基本的には・・・。

- ・最初は心臓から遠いところから、近いところに向かって体を動かしていく。
- ・行動は、左から先に動かす。
- ・軽い運動から、全身運動へ、そして整理運動へ。

こんなところだと思いますが、それを踏まえて自分の体操を作るのです。

(B) 体操を練習しましょう。

作った体操を、「左右逆に」練習します。なぜかという、教師は前に立っての見本であるため、左右逆に演じなければならないのです。

また、体操を練習しながら、子どもに対しての声かけも練習しなければいけません。タイミングを取ることに、誉めること、次の運動を指示すること、このようなことを効率的に児童に声掛けしなければいけないのです。

そのためには、練習しておくに越したことはありません。

私は、本番では失敗してしまいました。会場の音楽の音が小さくて、私は途中で音楽がわからなくなってしまい、止まってしまったのです。本当に悔いが残っています。

(4) 音楽実技

大阪の音楽では、オルガンと歌唱が課題として出されています。大阪府独自で、指導要領に載っている唱歌ではなく、各教科書会社に取り上げられている教材が指定されており非常にバラエティ豊かなものです。

早めに自分が取り組む曲を決めて練習しておけば、問題はないでしょう。

(5) 集団討論、集団面接

大阪府では、筆記実技と、面接試験の日程は離れます。私は9月中旬に受験しました。会場は「エル大阪」(大阪府労働センター)です。大阪府教育委員会が入っている建物で、教育委員会の会議室などを使って面接や集団討論が行われます。

会場につくと控え室に案内されます。控え室では私語等禁止、縦の列が集団討論のメンバーだとわかっていても、話すことは出来ません。しかしながら、1次で見た顔もあり、その人については私は正直「やばいなあ」と思っていたのでした。

なお、大阪の集団討論が珍しいのは、Aさん、Bさんという名前を使うのではなく、全員名札を着用してそれぞれの苗字でやり取りする点です。ちょっと大人扱いをされている感じがしています。

< 集団討論 > 7人20分間

「大阪ってすごいなあ。みんなしゃべりまくるなあ。自分のことアピールしまくるなあ。(遠い目)」と思った20分間でした……。

テーマは「子どもたちが喜んで行く学校にするためには。」

冒頭、みんなが考えがまとまらなくて、30秒ほどの空白が出来ていたのも、ええいと手を挙げました。そしてまずこの課題を受けて自分が感じる事として「子どもたちにとって興味の持てる、わかる喜びのある授業が大事だ」ということをかいつまんで話しました。

そうして、まず、それぞれの人が大事だなと思えることについて、発表しました。それで終わりました……。ちなみに私が話したのは最初の1回のみです。3人ほど、1回しか話せない受験者がいました。

理由は、とにかく喋り捲る人が2人いたんです。その2人は1度自分の番になると2分ぐらい話せばなしです。また、みんな一回りしてからまた手を挙げようなどという謙虚さはありません。2人ぐらい話したらまた手を挙げる。自分の得意な議題に勝手にシフトをしてしまう。「子どもが行きたくくなるような学校にするためには、地域の協力が大事だ、学校と地域の連携について皆さんの意見を聞きたい。」などと、やってしまう。

挙句の果てには、面接官に討論を途中で止められて「あのね、君の事はもう十分わかったから。他の人たちも審査したいのさ、だからもう君しゃべるの止めて！」といわれてしまう。(その人はそれでも合格した)

1次でもいたのですが、「私は 市立 小学校に勤務しています。校長先生は 先生です、研究を非常に重視している学校で頑張っています」とアピールした人が3人ぐらいいたのかな。

大阪ではこういうやり方が流行っているのかな？それを聞いて面接官は好印象を受けるのだろうか？もしかして・・・ネ？のアピール？

集団討論、集団面接のあと、喋り捲っていた人（1次でも一緒だった人）に「あんた、ようしゃべらん。あんた落ちたわ。」と言われてしまいました。でも、私が思ったのは「あんた、ようけしゃべるな。面接官もたじたじだった。あんた落ちたわ。」でも、私も、その人も通っていました。笑い話でしょうか・・・。

<集団面接> 20分

- ・自分はこの7人の中で絶対に負けないもの。
- ・いじめが増加しているという新聞記事を読んだか。
- ・あなたのクラスでいじめられて不登校になった児童が出た、まずあなたは何をするか。
- ・講師経験や教育実習の中で、子どもと心が通じ合った授業は。
- ・最後に自己アピール

(6) 個人面接 12分

集団討論で番号が最初だった人から順番に行われます。私は3番目。9時集合で11時にはもう会場を後にしていました。

- ・なぜ大阪府を受験したか。
- ・北海道と大阪府両方合格したらどうするのか。
- ・今何年生を担当しているのか。
- ・よい授業を作るために必要なことはたくさんあるが、そのなかであなたが大事だと思うことを3つ言ってください。
- ・本当にうまくいったなと思える授業を一つ発表してください。
- ・子どもと心が通じ合ったと思える経験はありますか。
- ・大阪府の教育課題は何でしょうか。
- ・同和問題はどのくらい知っていますか。
- ・今年の大阪府の教員採用試験募集ポスターを見ましたか。
- ・そこには何と書いてありましたか。
- ・大阪府で採用になったら、何市で勤務したいですか。

大阪府は圧迫面接で有名という話も聞いていましたが、担当した面接官は優しい感じで聞いてくれました。大阪府の教育課題では「人権教育」と答えてしまいましたが、実は、不登校児童生徒が多いことが一番に取り組んでいる教育課題なのだそうです。それもやさしく説明していただきました。

大阪府のポスターは見てはいましたがキャッチコピーまでは思い出せず。「すいません、思い出せません、また見ておきます。」と謝ってしまいました。

それでも、いい雰囲気でした。

北海道札幌市採用試験

北海道札幌市の採用試験は、毎年7月の第1週日曜日に行われます。全国のトップを切って行われるので、全国各地から受験者が集まります。関東や関西圏の倍率が下がるにつれ、その傾向も少なくなってきましたが、全国のどこでもいいから受かりたい、そのためにはたくさん受けまくるぞという人にとっては北海道札幌市はまず考慮する自治体になると思います。

北海道と札幌市の小学校でしたら倍率は同じくらいですので、まず、どちらを受けようかということを考えなければいけません。(これは道外在住の人のみではなく、道内の人も悩むところではあるのです。)一昔前では、北海道よりも札幌市のほうが難しいといわれていましたが、倍率を見るだけではそんなこともなく、年によっては札幌市のほうが倍率が低い場合もあります。

中学に関しては、倍率を考えると北海道のほうが採用人数も多くて、受かりやすいことは確かでしょう。

北海道と札幌市の比較をしてみましょう。同じ小学校というなかでも、現場は非常に違います、私は札幌市と北海道のある市で働いたことがあります、ちょっと比較をしてみたいと思います。

(1) 北海道

- ・北海道の小学校の53%は僻地指定を受けている。
- ・地方では、小規模校が多い。また、村や町に1つしか小学校がない場合も多い。
- ・校区内に教員住宅があり、そこに住む場合が多い。格安の場合がほとんど、でも地域と一体となって生きる気概が必要。
- ・隣町まで40kmとかざらにある。コンビニまで30kmとか・・・。
- ・車がないとつらい。
- ・大規模小学校では、専科制度をとっていることが多い。担任にも空き時間がある。
- ・14の支庁のなかで、どこに採用されるかはわからない。そして、採用されたら基本的にはその支庁の中で異動をする。
- ・札幌市に比べて教職員団体の活動がさかんである。

(2) 札幌市

- ・僻地指定をされている学校は数校。
- ・小規模校もないこともないが、基本的には大規模校である。
- ・自分が居住している校区の学校に勤務することできない。居住地から7km以内を基本として異動になる。
- ・教員住宅はないこともないが、入っている人を聞いたことがない。
- ・基本的に都会であるので、車がなくても生活が困難になることはない。
- ・札幌市の中で異動し、退職まで札幌市内が基本になる。
- ・職員体育がさかん。各区の中でトーナメントを抽選し、各種目ごとに大会が行われる。区で上位に入ると全市大会に進むこともある。組合で抽選が行われるが賞状は教育委員会委員長の名前で出されるなど、職員の福利厚生を兼ねている。若いと、得手不得手に限らず強制的に駆り出される。
- ・専科制度をとっている学校はほとんどない。担任がすべて教える。担任は空き時間はない。

< 1次試験 >

北海道札幌市の1次試験は、全国のトップを切って行われる。最近の傾向としては、教育時事的な問題の比

重が大きくなってきている。新聞を普段から読んでいるか、教育の動きについて把握しているか問われるようになってきている感じがする。

北海道の問題は少しずつ難しくなってきているように感じている。それは多分、少しずつ採用人数が増加してきていて、倍率も下がってきている、したがってきちんとばらけさせないときちんとした判断ができないからではないか。

教職教養では、一昔前ではほとんど出なかった教育史の問題が出てきたり、マイナーな法律からの出題も多い。「著作権法」「児童福祉法」「伝染病予防法」「少年法」など広い範囲を勉強しておく必要がある。

午後の小学校全科は、指導法と指導要領の穴埋めが厄介である。昨年までは指導要領の穴埋めはほとんど出なかったが、今年になって指導要領の穴埋めが多数出された。大阪の2次もそうであったが、今年のトレンドなのかもしれないと感じた。

一昔前までは、「について指導するときの注意点を3つ書け」「を使って指導をしたい、方法を3つ書け」というような指導法の出題内容が多かったが、昨年今年と具体的な場面での指導法が問われていた。

北海道も、札幌市も受験者の半分は1次を通過します。しっかりと準備をしていたら通過できると思います。

教職教養一般教養 60分50問 50点

小学校全科 100分記述 100点

の、150点満点で評価されますが、教職教養、一般教養、小学校全科3つで、どれかが半分取れていなかったら他がどんなに取れていても不合格になります。3つの項目すべてで半分以上をとり、さらに上積みを図っていかねばいけません。

< 2次試験 >

1次試験は全国のトップを切って行われるのですが、1次試験の結果は8月の下旬とかなり遅い。本人への郵送のみで、HP 掲示などのサービスは行われていない。2次試験は9月の第1土日に実施されるため、そこから交通機関や宿の手配をしなければいけない。全道5箇所の都市（札幌、函館、岩見沢、旭川、釧路）で行われる。

実施要綱に校種教科ごとに2次試験の会場が載っていますが、釧路や岩見沢では宿が極端に不足することが多い。釧路は中学校、岩見沢では特殊教育諸学校の試験が行われるが、毎年宿不足が深刻で、24時間サウナなどに受験生が多く入っているという実態もあるようです。また、昨年度の1次試験の札幌会場では、SMAPのコンサートと重なり、同じように宿が取れない受験生が多く、カプセルホテルやネットカフェで一夜を過ごした受験生もいたようです。

なお、小学校に関して今年度は、札幌、旭川、函館の3会場で2次試験が行われました。札幌と岩見沢で1次試験を受けた人は札幌会場、旭川と釧路で1次試験を受けた人は旭川会場、函館で受けた人は函館会場です。JRで函館に来ることが出来る人は函館会場で1次試験を受験する人が多いですし、航空機で北海道入りする人は札幌会場を受験する人が多いです。旭川会場は地元の講師の受験生が多いです。

北海道は、道外の受験生からも基本的には寛容といわれていますが、しっかりと「北海道を希望する理由」について聞かれるそうです。これが答えられない道外の受験生はまず北海道は合格できないと思ってください。

札幌市受験は、全員札幌市で2次試験を受験することになります。

(1) 適性検査

北海道札幌市では、適性検査として内田クレペリン検査と YG 性格検査が行われています。非常に細々しくて疲れる検査で、正直受けるのはいやです。

内田クレペリンは、1桁の足し算を延々で行う検査で、その正確さや仕事量の変化からその人の性格などを読み取ろうとする検査です。頭をフレッシュにしておくことと、普段から計算に慣れておくことぐらいしか対策は思いつきません。理想的な曲線などもあるのですが、ここでいちいち書くのもなんだかなあと思います。

YG 性格検査は、さまざまな質問に答えていくもので、自分の思ったとおりに答えていけばよいと思います。

適性検査は採用試験の参考程度ということであり、これらが悪いから落ちたということはない、とある受験予備校の先生は言っていました。

(2) 論文検査

北海道の論文は、800字、60分で、教師論か授業論の論文題が出されます。今年は「教師の専門性」に関する出題で教師論からの出題となりました。

自分の体験も織り交ぜながら、まあまあよく書けたのではないかと思います。

ここで1日目の昼食になります。ここからは1次試験のときに郵送されてくるタイムスケジュールに従っての行動になります。面接試験や実技試験あわせて5つの試験が行われますが、どの順番で実施されるのか、終わる時間2日目の日程などはそのタイムスケジュールどおりになります。また、集団討論を行うメンバーとともに行動することになりますので、是非声をかけて自己紹介や集団討論の打ち合わせをしておくほうがよいと思います。結構空き時間なども多く、集団討論のメンバーと一緒に話す時間が多くありました。よいメンバーに恵まれることがまず合格への第一歩と思います。

(3) 実技試験 体育

体育実技は、ジグザグドリブルと水泳が課されます。

ジグザグドリブルはドッジボールをてでドリブルしながらコースを入れて戻ってくるもので、ABCの3段階評価されます。基本はタイムです。

- ・ 14秒以内が A
- ・ 14秒から17秒までが B
- ・ 17秒以上が C

男性の編艇は上の通りです。ちなみに今年の試験では全員のタイムを試験官が発表しましたが、全員 A でした……。なお、年度、会場により試験のやり方は変わっています。

ドリブルする手を換えてはいけないと言われたり、ご自由にどうぞといわれたり、

1回やり直しが出来るのですが、やり直しをしたら前のタイムは消えますという試験官だったり、A になっていない受験生にやり直しをしてみないかいと声をかける試験官がいたり、

最後はボールを両手で受け取ってゴールラインに停止をさせる指示が出たり、ゴールラインを駆け抜けてよいという指示が出たり

水泳は、クロール、平泳ぎ、背泳ぎの中から1泳法選んで25メートル泳ぎます。

- ・ 25メートルたどりついたら A
- ・ 18.75メートル以上で B
- ・ 12.5メートル以上で C
- ・ 6.25メートル以上で D
- ・ 6.25メートル未満で E

という基準です。泳法の綺麗さなども問われません。タイム計測もありません。本当にかっこ悪いながらもとにかくたどり着けば A です。ちなみに10年受けていますが、A 以外は見たことがありません。とにかく全員たどり着いています。

(4) 実技試験 音楽

音楽実技は、バイエルピアノ? と歌唱共通教材の弾き語りが課せられています。なぜ、バイエルピアノ? に? を付けたのかというと、必ずしもバイエルを弾かなくてもよいからです。

試験案内には「バイエル72番以上」という指示がありますが、その「以上」の中にもっと難しい教本が入っているという解釈をしているそうです。ですから、ソナチネやソナタ、ミュラーなどの教本を持って試験を受けている人が結構います。私もソナチネで受けています。

また、歌唱共通教材は3年から6年までの共通教材の中で、日本的な和声を持つものを除いたものから指定されます。毎年3曲ほど指定されて、どれを受験生に弾かせるかは、試験官に任されているようです。

- ・3枚の楽譜の中から一番上のものを弾いてください。
- ・3枚の楽譜を見て、好きなものを弾いてください。
- ・何でもいいから知っている曲を弾いてください。
- ・1枚弾いたあとで、もう1曲弾いてください。
- ・2分の練習時間をくれる場合、くれない場合。

バイエルピアノ? を見てから、試験官がそれぞれの受験生に適している対応をしたいと思います。

でも、基本は大きな声で歌うこと。ピアノが止まったら、歌っている声にあわせてピアノを弾き始めること。目の前で子どもたちが歌っているという感じで、止まらずに演奏することが大事なようです。

なお、北海道札幌市では実技試験はそんなに大事なものとして扱われていないように感じます。「僕は何も弾けません、失礼します。」と言って出てきた人が合格していたり、水泳で足をついてしまった人も合格していたり……。失敗しても挽回することは可能であると思います。

ただ、対策をしなくてもよいというわけではありませんので、そのところは間違わないようよろしくお願いします。

(5) 個人面接

北海道札幌市の個人面接は、普通の教室を2つに分けて行われます。つまり、隣の面接が丸聞こえの中で行われるのです。これは非常に受験する身としてはプレッシャーです。特に隣の人の声が大きかったりしたら、本当に身が縮こまってしまいます。

面接官は、1人は校長、もう1人は行政からです。最初に受験生を呼びに来る人が行政の人です。でも、面接をリードするのは校長のほうですので、3分間スピーチなどはその校長のほうを見て言うほうが良いです。その後の面接では、質問をされた面接官のほうを見て話すのがよいと思います。

また、冒頭に3分間の自己アピールが行われます。この自己アピールが問題で、ここでほとんどが決まってしまうといっても過言ではないといわれています。

面接官はしっかりと3分間測り、時間オーバーはそこで切られます。(たまに切らないで好きなだけ話させて、評価を最低にする面接官もいます。)しっかりと対策を立てておきたいところです。

<自己アピール>

まず、こういう人は確実に落とされます。(北海道札幌市は、採用予定の3倍以上を1次通過させているの

で、だめだと思った人はどんどん落とされます。)

- ・ 3分間スピーチでなく、3分間スピーカーになっている人。(覚えてきたことを話すだけ、言葉に重みがない。)
- ・ 時間オーバーに気づかない。2分半以内に終わってしまう。
- ・ 途中で止まってしまう。(たまに、やり直しをさせてくださいと頼む受験生もいるらしい、これは論外)
- ・ 言うことを思い出そうとして目が上を向いている、面接官のほうを見ない。

アピールすることは、自分が教員を志したきっかけ、現在努力していること、自分の良い面、経験、何でもよいと思いますが、自分がしてきた貴重な経験をたくさん盛り込んだアピールがよいでしょう。そして、全部覚えずに、話の流れをキーワードで覚えていき、そのキーワードのつながりを語っていくやり方がいいと思います。

<その後の面接>

- ・ 札幌市の現場と北海道の現場の違いは
- ・ なぜ、今まで落ち続けているのか
- ・ なぜ、今まで受け続けているのか
- ・ 今日は緊張していますか。
- ・ 学級でいじめを発見したらどのように対処しますか。
- ・ いじめを未然に防ぐためにどんなことに気をつけていますか。
- ・ 不登校の児童についてどのように対処しますか。
- ・ 今勤務している学校はどんな学校ですか。
- ・ 今のクラスを受け持つに当たってどんな配慮をしていますか。
- ・ 地域の目という事に関して、気を使っていることはありますか。
- ・ 教育公務員という観点で、自分はどのように考えるのかを述べてください。
- ・ 他の自治体を受験していますか。
- ・ 僻地に勤務することはかまいませんか。
- ・ 最後に自己アピールを。

(6) 集団討論

北海道の集団討論は75分という長い時間行われます。といっても、実際の中身は45分で残りの30分は討論後に行われる集団面接と考えていいと思います。

1日目の午後か2日目に行われ、受験番号で誰と組むのかということがもうわかっているために、事前に打ち合わせをすることが可能ですので、打ち合わせの中でお互いに仲良くなっておいたり、司会を決めて置いたりすると討論の方向性が見えてやりやすいと思います。

今年は、6人で組むはずが1人欠席のため5人での集団討論になりました。しかも5人とも北海道の期限付教員で実績がある人たちでした。

司会をやりたいと希望した方が1人おりまして、その方に司会をお願いして残り的人たちは基本的にサポートに回る、最初にみんなで考えるところを述べた上で、議論の柱を立てて討論するという方針を納得しました。しかし・・・この司会に振り回されるのです。

なお、面接官は1人校長、1人行政から、1人は民間人でPTAからの3人です。討論議題についてはちょっと忘れてしまいましたが、とにかくこの司会に振り回されるのです。

- ・最初にみんなで考えるところを述べたらよいのではないかという提案（予定提案）を蹴る。
- ・議論の柱をみんなで出したのですが、それらを全部無視して、自分で柱を3つ立てる。
- ・ について感じることをみんな話してください、と振ったのに、2人話したところでいきなり話題を変えて、他の人に振る。
- ・司会の方針に従えない人は話さなくていいです。という言葉が発する。
- ・面接官が「もう時間です」と言っているのに、それを無視して早口で自分の意見を言い切る。

私は、途中から唾然としてみていました・・・非常に居心地が悪かった45分でした。自分が何を言ったのかも覚えてられないような議論でした。

ちなみに、討論が終わったとの集団面接で聞かれたことは

- ・討論のまとめ。（2分以内）
- ・朝起きて教室にはいるまでに、誰と何回あいさつをするか。
- ・道徳授業でどんな教材を使うか。％を使って説明して欲しい。
- ・不登校の児童が出たときに、どのような対処をするか。

採用試験旅行に関して

私は北海道在住ですので、本州の採用試験を受けるのには宿泊を伴う旅行をしなければいけません。今年は飛行機ばかりでしたが、去年はフェリーなども使いました。結構あるといい便利グッズを紹介したいと思います。

（1）楽天トラベル（旅の窓口）

宿をインターネットで簡単に申し込むことができます。手軽に検索して簡単に申し込めます。また、一般料金よりもかなり安く泊まることができます。1次通過して2次の日程がすぐのときなどには重宝します。

（2）キャリーバッグ

今年は赤いごろごろキャリーを持ち歩きました。本当疲れなくて便利です。神奈川の試験では結構同じようなごろごろキャリーを持ち歩いている人が結構いました。特に実技のときなどは荷物が多いんですよね。

（3）テーピングテープ

非常に便利です。痛いところに巻く、靴ずれ、バンドエイド代わり、と重宝します。

今回の試験では、会場に向かう電車のドアにネクタイを引っ掛けて破いてしまいました。裏からテーピングテープで補強をして実技試験に臨んだのです。

（4）三叉タップ

宿で携帯電話とデジカメと2つ充電したいとき、充電とポットを使いたいときなどに重宝します。友人同士で泊まって2つの携帯の充電をしたいときなどいいかもしれませんね。

（5）切手

切手は常にストックして持っていたほうがいいです。会場で切手を集めるときに必ず忘れる人がいます。その人に、「私予備あるからあげますよ」とあげちゃいましょう。自分もいい気分で試験に望めること請け合い

です。

(6) クリアファイル

結構便利です。自治体ごとにクリアファイルで分けておいて、ファイルごと持ち歩く。その中に航空券や宿のクーポンも入れておく。非常に便利です。

(7) 青春18きっぷ

意外と便利、採用試験期間中に結構ぶつかる。移動日さえあれば、2300円で普通列車乗り放題です。私は愛知 大阪(日程が空いたので大阪見物) 東京など、結構使いました。

(8) 長距離フェリー

私は実はフェリーが好きなのです。北海道、愛知、宮城と結ぶ太平洋フェリー、苫小牧や小樽から関西や新潟を結ぶ新日本海フェリーがお気に入り。採用試験でも愛知、宮城1次、東京2次(帰りは新潟から新日本海)宮城2次と使いまわりました。1泊がついて8000円程度と、非常にお得に感じます。

(9) スルット KANSAI

大阪近辺の私鉄や大阪の地下鉄で適用されるプリペイドカードです。一回一回切符を買う必要がないので乗換えなどが楽です。関東圏も関西圏も私鉄がたくさんあることにびっくりしています。

採用試験 まじっすか!? 話・・・。

採用試験では、いろいろ面白い話があります。そこで、合格体験記の最後に私が体験した面白い話をいろいろ載せたいと思います。

(1) ゴジラ

3年ほど前の北海道の1次試験会場、試験中に誰かの着メロが鳴った。曲は「ゴジラ」。当然出るわけにはいけない、すると10回ぐらい鳴って一旦は切れた。ほっとしたのもつかの間、再び「ゴジラ」が鳴り出す、試験官は「誰だ、誰だ」というが誰も手を挙げるわけも無く着メロだけが鳴り続ける。

その日1日は頭の中から「ゴジラ」が離れなかった。まじっすか!?

(2) あめちゃん

今年の北海道の採用試験、私の隣で試験を受けている受験生が、ポケットに手を入れて何かごそごそ・・・。
ぱっと、あめちゃんを口へ・・・。口を動かしながら問題を解いている・・・。まじっすか!?

(3) 暖房水泳

昨年の宮城県1次試験、気温17度、水温13度、大雨、屋外プールという悪天候の中で水泳実技が行われました。待っている間に体は冷えていく。私の前の組の人は1人途中で立ってしまった、寒くてぶるぶる震えている、私も気合を入れてプールに飛び込んだ、早く出たいので一気に泳ぎきった・・・。その後ろで平泳ぎでゆったりと泳いでくる受験生もいた・・・。着替え所には7月なのに暖房が最高潮で入っていた。まじっすか!?

(4) 北海道スタイル

北海道では、スーツにスニーカーというファッションが流行っています。というより北海道ではあまり違和感はありません。上履きとしてであれば、日本中でもスーツにスニーカーというスタイルはあると思いますが、北海道の2次試験の会場の開場前には、4割ぐらいの人はスーツにスニーカースタイルです。私もそれは当たり前かと思っていたところもあったのですが、本州の採用試験を受けているとそれが、北海道スタイルだということが理解できました。まじっすか!?

(5) 愛知スタイル

愛知では、上履きとしてスリッパが大きな比重を占めていました。北海道では面接の場にスーツとスリッパで行くことは考えられないのです。でも、愛知では半分近くの人がスーツにスリッパで面接も受けていました。私にとってはカルチャーショックでした。まじっすか!?

(6) 神奈川スタイル

神奈川県2次の話。私は上下のスーツにネクタイをびしっとしめて、試験会場に行きました。試験会場で試験官(面接官ではなくて誘導員)がこう言いました。「神奈川県ではエコロジーを意識してノーネクタイ、ノー上着を奨励しています。私たちは全員ノーネクタイ、ノー上着です。受験生もよろしかったらネクタイや上着は取ってください。」

本当かな?とと思っていたのですが、模擬授業で廊下に呼ばれている私はその補助員に言われました。

「ほら、君、神奈川県の方針に従えないのかい?それじゃ受からんよ。」

唖然とした私は、ネクタイはずさず、上着は取って模擬授業に望むことにしたのでした。8割の受験生が上着を取っていました。まじっすか!?

(7) 意地の松葉杖

昨年の宮城県2次試験実技、松葉杖で歩いている受験者がいた。で、マット運動とバスケットボールの実技試験があった。その人、やっていた。倒立前転から伸膝前転、片方の足をギプスで固定しながらやっていた。バスケットボールも、片足けんけんでドリブルしてシュートしていた。試験官は止めさせなかったんだろうなあ。その人は会場全体から大きな拍手を受けていた。が、合格したかどうかは不明。まじっすか!?

(8) いきなり管理職?

東京の2次面接での話です。東京では主幹制度を導入しています。東京の面接で「もしあなたが主幹になったら、どのように学校経営に関わりますか?」という質問が……。確かに、受験生だから注目はしているけどさ……。そんな質問ねえ……。まじっすか!?

(9) こんなところで講師登録?

北海道の2次試験の話です。面接で職歴の話をしているときに、ちょうど今は臨時採用をしていないという話になりました。(でも、数日後からある自治体からの話がある)で、面接から数日後……。

「教育局ですけど臨時採用どうですか?」「いや……。もう管内で決まっていますので」「あれ、でもこの間は臨時採用をしていないと聞いていたけど」あきらかに、北海道教育委員会は面接での臨時採用の有無を流して、それぞれの教育局が臨時採用を採用するのに利用しています。また、採用試験願書をそのまま臨時採用登録として使っている教育局もあります。まじっすか!?

(10) あやや、アイスティ~

愛知県の2次試験の話です。私が受けた年の愛知県2次は非常に暑く、教室もプールもすべて暑かったです。そんな中、午前中筆記試験や論文検査、午後から水泳実技を終えた私は、朝から持っていったお茶を飲み干してしまっていたのです。そして帰り道、駅に向かう道路、心臓がゴボッゴボッって……。ああ、これは明らかに水分不足だと思った私は自動販売機へ……。意識朦朧とした中で買っていたのは、「午後の紅茶あややアイスティ〜」

ああ、あややに命を助けてもらった……。それにしても本州の人は水分の取り方が上手だ……。まじっすか!?

(11) 郵便事故!?

今年の大阪府の採用試験。1次合格をHP上で確認してから、大阪府からの通知を待っていました。しかし、待っても待っても来ません。8月11日に発送したはずなのですが、8月18日になっても届きません。大阪府教育委員会に確認したところ、「それはおかしい、でも2次試験にはとりあえず来てください。」ということでした。8月21日、23日の2次試験には、当日再発行?してもらった仮受験票で受験しました。そして、地元に戻って数日……。

大阪を8月11日に発送されははずの2次の受験票は8月28日になって郵送されてきたのでした。本当、まじっすか!?

(12) ジャージに革靴

北海道の2次試験の話。北海道の2次試験では面接や実技がある程度の時間の余裕を見て行われます。そして、集団討論のグループでけっこう行動することが多いのです。私はタバコは吸いませんが、今年のグループはほとんどの人が喫煙者でした。試験と試験の間に1時間以上間が空くことは頻繁になりますので、喫煙者はタバコを吸いに行きたくなります。でも、会場は高校なので喫煙所はありません。

試験時刻に間に合いさえすれば外出は自由ですので、近くの大型スーパーの喫煙所に行くのです。外靴は、みんなスーツで来ているので革靴が多いです。でも実技試験後だったので、汗をかいているしスーツには着替えたくない雰囲気だったので。

結局、上半身はTシャツに受験番号、下半身はジャージ(短パンの人もいる)そして革靴、そんな服装でスーパーの喫煙所に向かうのでした。(喫煙所は大盛況でした。その姿でスーパー内の本屋で立ち読みをしている人もいました)まじっすか!?

(13) 北朝鮮の感じ

昨年の東京2次面接を終えて、私は青春18切符で新潟に行き、新潟から新日本海フェリーで苫小牧に向かうルートを取りました。新潟では……。そう、厳戒態勢が敷かれていました。マンギョンボン号が入港していたのです。新潟の街を時間まで歩き、朝鮮総連前では警官に「ちょっと離れててね」と言われ……。

さて、新日本海フェリーは19000トンの船です。マンギョンボン号は2800トンの船です。「小さい船だな……。」近くにいる人たちみんなの感想でした。こんな小さい船が……。まじっすか!?

(14) 愛知での車

愛知県の2次試験面接。最初は結構柔らかい質問から始まった。そしてその中の質問。

「車は乗ってるの?何に乗ってるの?」「はい、トタの……です。(いわゆる携帯空間です。)」

「そうだね、ヨの車に乗っていないと変人扱いされる地域もあるからね。」

まじっすか!?

(15) るーぷる、支倉！！

宮城県の1次問題、小学校は総合問題でした。結構面白い問題で、また宮城のことが結構出ることでも知られています。仙台に前日について私は、朝から快速うみかぜに乗って石巻へ、そして戻って、るーぷる仙台に乗って仙台観光、仙台市博物館では支倉常長展を見、仙台城址に行きと、仙台観光を楽しんだのでした。

そして、次の日の試験……。全部出ていた……。るーぷる仙台、支倉常長、石巻のかまぼこ工場、仙台城にちなんで荒城の月……。まじっすか！？

(16) 特急？快速？

私の住んでいる北海道では、JR以外の私鉄はありません。何回か東京に行ったことはあるのですが、JR、地下鉄、東京モノレールしか使ったことがありませんでした。

昨年の愛知県受験で始めて名鉄に乗りました。名古屋から東岡崎までの切符を買って、ホームに行ったところ、来る電車来る電車「特急」「急行」……。快速以上は乗れないと思っていた私は、普通電車が来るのを待っていたのです。で、ホームの係員に切符を見せて聞いたところ、高笑いされ「ほれ、次の特急に乗っていきなさい」と案内されました。私は本当に田舎者です……。まじっすか！？

(17) 宮城県地震

宮城県の2次試験が終わって、その日の夜から太平洋フェリーに乗って苫小牧に向かいました。試験が終わった喜びでいい気持ちで酔っ払って、疲れもあって寝てしまいました。次の日、フェリーのテレビを見てびっくり、「宮城県で震度6強」「おおっ！！」

私はこのときは無職で、お金も余りありませんでした。仙台から北海道に向かうのであれば何とんでもフェリーが安いのです。お金があってもう1日仙台観光がしたいと思ったら、この地震で数日足止めされていたでしょう。

私は、このとき宮城県の採用試験は多分不採用だろうなあと感じました。もし、これから宮城県で勤務する運命であったら、神様はこの地震を宮城県民共通の体験として、体験させてくれたでしょう。

(18) チャットへのご招待

私はよくこのページのチャットに出没しています。多分今現在では常連の一人だと思います。ぜひ、みなさんとはチャットで話したいと思っています。怖いところじゃありません。普通程度のタイピング力があつたら、十分大丈夫だと思います。

チャットの魅力は、反応のタイミングの妙にあります。ここでボケるのか、突っ込むのか、知識を披露するのか、聞き役に回るのか、そんなことを考えながらいろいろな人と関わっていくわけです。

チャットには面白い人がたくさんいます。ぜひ、このHPのチャット人口を増やしたいと思っています。

こんな長い文章を、最後まで読んでいただきありがとうございました。私の書きたいことの3分の1ぐらいを書いたような気がします。書ききれないこと、悔しかった思い、書いてもしょうがないこと、しょうもないこと、ここに書いた倍以上の分量があると思います。

昨年受けた愛知、宮城、東京のこと、講師先のこと、北海道や札幌での講師のこと、まだまだ書きたいことはたくさんありますが、読むほうも大変だと思いますので、こちら辺にしておきます。

私の10年間の集大成の1部です。でも、これからまだまだ先に進んでいかなければいけません。ここはゴールでもありスタートでもあるのです。とりあえずの一区切りです。

また、チャットや雑談掲示板でお話しましょう。どこかで会えたらいいですね。

平成16年10月2日 21:15 第1稿

平成16年10月29日 21:21 最終稿 けいたん